

令和7年度 全国および岡山県学力・学習状況調査の結果

4月17日（木）に行われた令和7年度の調査結果とその分析、今後の取組等についてお知らせします。（個人票は1学期末に既にお渡ししています。）

1年生平均正答率(%)			
教科	国語	数学	英語
全 国	64.5	66.8	81.4
岡山県	64.3	67.1	80.5
津山市	63.1	65.2	79.5
北陵中学校	65.9	68.0	82.1
全国との比較	+1.4	+1.2	+0.7

2年生平均正答率(%)			
教科	国語	数学	英語
全 国	65.0	53.6	51.3
岡山県	63.7	53.7	49.9
津山市	62.2	51.5	47.3
北陵中学校	65.9	56.5	52.0
全国との比較	+0.9	+2.9	+0.7
(// *1年時)	+3.7	+3.3	+4.2

3年生平均正答率(%)		
教科	国語	数学
全 国	54.3	48.3
岡山県	55.0	48.0
津山市	51.0	43.0
北陵中学校	53.0	45.0
全国との比較	-1.3	-3.3
(// *2年時)	-1.5	+1.6
(// *1年時)	+1.4	+0.4

質問紙調査より(肯定的回答)			
	1年	2年	3年
自分にはよいところがある	80.2	89.4 (88.4)	88.6 (81.0)
将来の夢や目標を持っている	85.6	77.6 (92.7)	68.3 (82.3)
平日の学習時間(1時間以上)	54.2	52.6 (57.9)	48.7 (55.7)

()内は、2年生は1年生のときの、3年生は2年生のときの数値

調査結果から	
成 果 と 課 題	〈学力状況調査〉 ・2年生は引き続き平均を超えてはいるものの、その値が減少傾向である。 ・3年生の数学は昨年よりも大きく下がった。特に証明問題で顕著である。 ・全学年共通の傾向として、「知識・技能」に関わる問題のポイントは高めだが、「思考・判断・表現」の問題でポイントが低い。 ・「問いの言葉の意味の理解」や「読解力」、「思考して、自身の言葉で表現、説明すること」に弱みがある。
	〈学習状況調査〉 ・「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標を持っている」は、概ね県平均程度か上回っている傾向にある。 ・「平日の家庭(学校外)学習を1時間以上」は、1・2年生では県平均を上回ったが、3年生は大きく下回り昨年度からも激減している。（「全くしない」は、1年生 5.4、2年生 9.2、3年生 8.2%。） ・「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」は、1・3年生で県平均を上回り、2年生は-3.6だった。 ・「授業では落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組むことができる」への2年生の回答が、昨年度の 89.1 から 59.2 に激減している。 ・スマホやタブレットの学習以外での使用時間も長い傾向にある。
	今 後 の 取 組 ・課題を適切に読み取り、思考・判断し、自身の考えを伝え(合え)る「思考力・判断力・表現力」の育成に努める。 ・「規範意識の向上」に改めて取り組み、「授業の約束」や「聴くこと」について、再度重点を置きながら2学期を始める。 ・中学校ブロックで連携した取組を進める。 ・「自律的学習者」の育成に向けて、家庭学習に主体的に取り組めるよう、家庭学習と授業との接続を意識した取組を行う。 ・スマホやインターネットとの適切な関わりについて、警察によるネットモラル教室等を活用し指導を継続する。家庭とも連携し、家庭でのルールの見直しなどの啓発を行う。